

三郷市文化協会とは

三郷市文化協会は、平成5年5月30日に市内の文化・芸術の愛好者団体の連盟の統括組織として、文化の振興、会員相互の連絡協調、団体の充実と育成を目的に組織された団体であります。現在、9連盟と1サークルが加盟しております。

文化協会の年間事業としては、市民文化祭、文化協会祭、体験学習教室などを開催しており、また、関連事業として各団体において精力的に各種事業が展開されております。

三郷市の大事業である市民文化祭は、毎年11月3日(文化の日)前後の土・日曜日に開催しており、事業内容は展示・演芸・パレード・囲碁将棋の4部門からなり、展示部門は一般の方々よりの出展作品、学校作品からなっています。

演芸部門は、一般の方々の出演より、郷土芸能・楽器演奏・合唱・詩吟・舞踊・演劇・民謡・カラオケ・かっぽれなどが行われています。パレードは小学生、幼稚園児による金管楽器、鼓笛などによる隊列を中心としたパレードで、例年15団体1,000人程度の参加があり、見学者を合わせると3,500人程度の参加があります。

また、文化協会祭としては、例年11月下旬には美術連盟が主催する市展(三郷市美術展覧会)が開催され、市内の美術愛好家の作品が広く紹介されています。

また翌年の2月ごろには美術連盟以外の加盟団体による発表会が文化会館等において開催され、例年、出演者と見学者を合わせると約5,000人程度の参加があります。

市民文化祭パレード



市民文化祭学校展示

